



—ママの一步踏み出す背中を押す—

## 一般社団法人mama'sふらっと 代表理事

いしい ようこ  
石井 洋子さん



ママが笑顔でいられるためにママを主役にした「子育てママ支援」をしている一般社団法人mama'sふらっと（通称：ママふら）。常設サロンであることにこだわり、予約制にはせず、話をしたい時にふらっと立ち寄れる場所を、市原市にオープンしてから約2年。サロンには日々様々なママさん達が立ち寄ってくれているそうです。

そんなママさん達と接しているうちに、子育て中の女性のポテンシャルの高さを知って驚いたという石井さん。小さなお子さんがいても、一步踏み出す勇気を持って、誰かがちょっとだけ背中を押してあげれば、花咲くママはたくさんいる・・・そんな石井さんの思いを利用者ママの声を交えてお届けします。

### —始めたきっかけと今の様子

始めたきっかけをよく聞かれますが、実は“これ”というものはないんです。自分の子育ての経験から、大変だったこと・理不尽に感じたこと・これがあつたら良いのになと思ったこと等々、色々な思いが重なって気がついたらやっていたという感じですね。次の世代の子育てママさん達にはそんな思いをして欲しくないな・・・と。

それまでは全く違う分野で働いていたので、オープンして一体どうなるか未知の世界でしたが、始めてみたら「こんなことやってみたい」「こんなことができます」という子育てママさんの多いこと！

市原市は通勤族が多い土地柄もあり、近くに知り合いがいなくて孤立して子育てしている方も多く、そういったママさん達のふらっと立ち寄れる実家のような存在にもなりつつあります。

サロンを利用するママさん達の様子を見ながら、柔軟に対応することを心がけています。

### —ママ自身が幸せであることが大事

子どもが産まれると何かと自分を犠牲にしがちだし、“こうあるべき”に捉われて子育てしがちですが、一番大切なことは、自分自身が幸せであること。辛かったら助けを求めればいいし、やりたいことがあつたらやればいい。自分が心地よくいれば、お子さんは自然とリラックスして心地よくなると思っています。

ここでは、いつでも話に来られる常設の場所の提供とママ向けの講座の開催、チャレンジママの応援もしています。サロンの中で開催される講座の講師のほとんどは、駆け出しの子育てママさんです。

やる方も、やってもらう方も子育てママ。そんな中からお互い得るものがあり、気づきがあり、つながり、次のステップへ。自分をバージョンアップしていくことによって自分に自信が持てるようになり、子育てにも自信が持てるようになってもらえるといいなと思っています。

### —利用者ママの声

#### (1) 通い始めたきっかけと今のお付き合い

私には医療的ケア児がいるので、外に働きに出ることが難しく、家でできるキャンドルのハンドメイドを始めました。販売先を探していたところ、ママふらが見つかり、ちょうどママサロンだったので委託販売をお願いすることになったのが石井さんとのお付き合いの始まりです。

難しい状況を諦めるのではなく、そんな中でも何かチャレンジできることを見つけ、それが自分のためにも子どものためにもなるという考え方が石井さんと一致して、色々一緒にやらせてもらっています。今では、よもぎ蒸しやオリジナルTシャツ作りもお手伝いしています。

こんな私のチャレンジが、お子さんに特性があり大変な思いをしているママさん達を少しでも勇気づけることができたら嬉しいです。



やさしい口調で、力強く語る利用者の大下さん

## ——利用者ママの声

### (2) サロンではどのように過ごしていますか

初めから明確な目的があって来るわけではなく、石井さんやたまたま居合わせたママ同士で何気ないおしゃべりをしたり、子ども同士を一緒に遊ばせたりしています。

子どもを産んで初めて感じる孤独感と、できない事や制限される事が多すぎて嫌になることもあります。ここに来ておしゃべりすると悩んでいた気持ちが楽になります。実家が遠いので、ここは第二の実家のような存在です。

予約制ではなく自分が来たい時に来られますし、飲食もOKなのでお昼を跨いでいられるのが助かっています。



この日の講座はベビーマッサージ☆

講師の先生は、この日がママふらでの初めてのチャレンジだったそうです。

## ——利用者ママの声

### (3) 来てみて変わったことは

子育てをしながらでも自分の時間を作ってやりたいことができるんだと思えるようになりました。

小さなことでも自分のやりたいことができるのは、子育ての気分転換にもなってとても良いです。

偶然居合わせたママさんと意気投合し、サロン以外の場所でも会うようになり、言葉の通じない小さな子どもと家に籠ることがなくなって孤独を感じなくなりました。

## ——利用者ママの声

### (4) “他とは違うな”と思うことは

石井さんは、お子さんに特性があるママさんに対して積極的に声がけています。サロンには色々な特性をもったお子さんがいることでもあるのですが、自分にとっても子どもにとっても、そういったお子さんと一緒に過ごす時間はとても貴重だと思っています。小さい時から多様性を学ぶいい機会がここにはあり、これは他にはなかなかないと思います。

サロンの入口すぐに設置されている委託販売スペース。ママのハンドメイド作品はどれも素敵でした。



## ——mama'sふらっとのこれから

ありがたいことに、たくさんの方々から「あって良かった」「ずっと続けて欲しい」という声を頂けるようになってきました。

自分で貯めたお金で拠点となる一軒家を購入しましたが、3年頑張っても上手いかなかったら辞めようと思っていました。でもこういった声を聞くようになって、今では継続していくことが目標になっています。“母親が子どもを育てて当たり前”という考え方が中心のなか、「子育てママ支援」に対して、なかなか資金的な援助を受けにくいのが厳しい現状です。諦めることなく、様々な施策にチャレンジしたり、寄付金を集めたり、賛同してくれる企業さんを探したりと、できる限りのことをして何とか継続していきたいと思っています。

活動としては、型にはまらない面白い支援をどんどん考案していきたいです。細かいルールや、世間一般的に言われている枠で考えるのではなく、目の前にいる当事者のママさん達の様子を見ながら新たな施策を考え、私自身もチャレンジを続けていきます。



拠点となっているサロン。

普通の平屋の一軒家で実家に帰ったような気分に。

## ——子育てママへメッセージをお願いします

お子さんが小さい頃は何かと手がかかるので育児中心になり、自分がやりたいことも諦めがちですが、社会とのつながりが途切れてしまうと孤独になりがちだし、またつながるのが大変！無理のない範囲で、自分なりに細々とでも社会とつながり続けて欲しいです。足を止めない限り、長い社会人生を振り返った時、3～5年なんて大したことなかったと思えますから。

子どもが手から離れた時、スムーズに、そして大きく自分の人生を花咲かせて欲しいと思います。

サロンの日々の様子や講座スケジュール等はこちらからご覧いただけます。



mama'sふらっと  
ホームページ



mama'sふらっと  
Instagram